

重点項目①

「探究的な学び」を意識した授業実践

関連項目評価結果

児童「先生は、課題について、自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている。」

(結果: 2.36 ↑)

保護者「本校は、子どもが考えることや、課題を解決することを大切にしている授業を行っている。」

(結果: 1.38 ↑)

教員「学習指導では、児童の思っていることと考えていることを感じていることを大切に、意欲がもてるように工夫して授業を行った」

(結果: 個人1.64 ↓ /学校1.80 ↑)

重点項目②

児童理解に基づく「思いやりの心」の育成

関連項目評価結果

児童「わたしは、人の気持ちを大切に生活している」(結果: 2.00 ↑)

保護者「子どもたちは、人の気持ちを大切に生活している」(結果: 1.02 ↑)

教員「児童一人一人を大切に、丁寧に指導した」(結果: 個人2.31 ↑ /学校2.20 ↑)

重点項目③

「豊かな学び」を具現化する自主的・実践的活動の推進

関連項目評価結果

児童「わたしは、よりよい自分になろうと努力している」(結果: 1.88 ↑)

保護者「子どもたちは、よりよい自分になろうと努力している」(結果: 1.07 ↑)

教員「児童の個性の伸長・健全な心身の育成を通して、児童が自分の生き方、社会の在り方考え、自己実現を図る力を付けられるように指導した」(結果: 個人1.11 ↑ /学校1.63 ↑)

基本理念

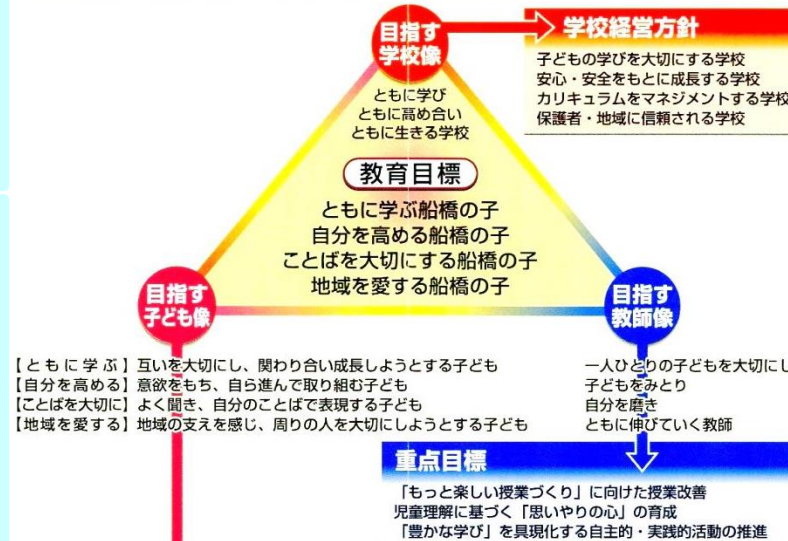
はじめに子どもありき

教職員は、子ども自身が何を考え、何を思い、何を感じているのかを大切にします。

教職員は、子どもとともに伸びます。

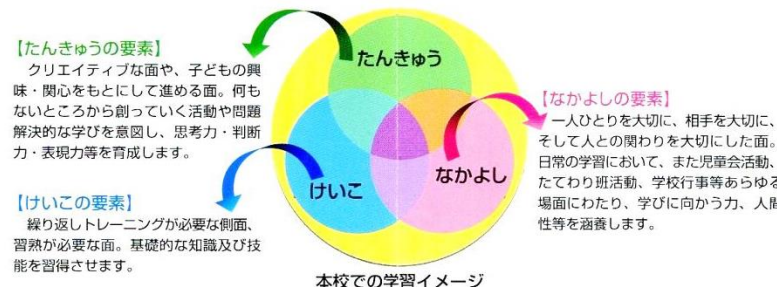
教職員は、子どもの事実をみとります。

教職員は、子どもから出発し、子どもに還ります。



本校の学習

各教科や特別活動、学校行事等と広い範囲にわたり、全ての学習に以下の3つの要素があります。



令和4年度の主な取組

① 研究授業、研究発表、授業力向上週間、研修会等を通して、「探究的な学び」の研究に取り組み、よりよい授業実践を推進した。ICTを活用し、個別最適な学び、主体的・協働的で深い学びができる環境をつくってきた。

② 自閉症・情緒障害特別支援学級や通常学級において支援員を配置する、別室登校対応などをして、子ども一人一人に応じた指導を行った。

③ 学級活動や異学年交流を通して、望ましい人間関係をつくり、集団の課題を自ら解決できるよう指導した。

考察

① 「探究的な学び」の研究、発表を通して、「探究的な学び」のよりよい実践を追究する。タブレット端末の活用については、保護者と共通認識をもち、使用ルールの改訂やメディアバランスの指導を行う必要がある。

② 子ども一人一人を大切に教育、多様性を認めるインクルーシブ教育の推進から、児童に人を思いやる心が育まれてきている。継続し、定着を図る。また、不登校への対応やいじめに関して全ての児童が傍観者とはならない教育を進める必要がある。

③ 子ども一人一人の心身の健康や未来を生きる人間形成の礎を、自主的実践的な集団活動を行うことにより育む必要がある。

令和5年度 教育課程編成の方向性(新規重点)

○「キャリア・未来デザイン教育」の実現

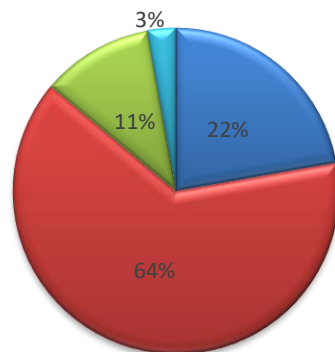
「探究的な学び」を意識した授業実践、相互にかかわる学びを大切に、学びを深める。人としてこれからの社会で成長する力を育てる。

○ 多様性の尊重、多様な学び、インクルーシブ教育の推進

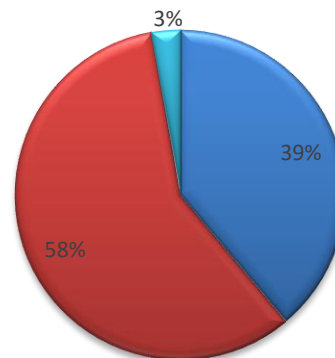
多様性を理解し尊重する豊かな心を育てる。いじめや不登校の未然防止や早期対応に努める。特別支援教育を推進する。

学習指導について（課題ととらえられる項目）

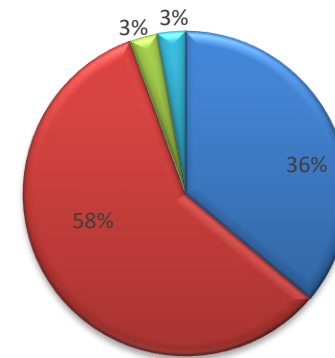
学習指導では、「けいこ」「なかよし」「たんきゅう」の視点を持ち、探究的な学びになるよう指導をした。



学習指導では、情報活用能力の育成やオンライン学習に対応するICTの活用など、PCやTVディスプレイなど、情報機器を積極的に活用した。

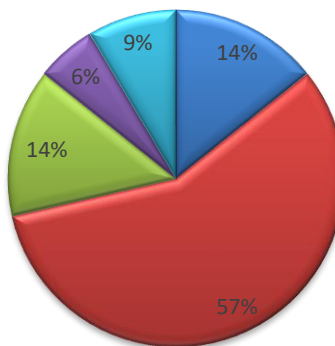


学習指導では、児童の思っていることを感じておくことを大切にし、意欲がもてるように工夫して授業を行った。

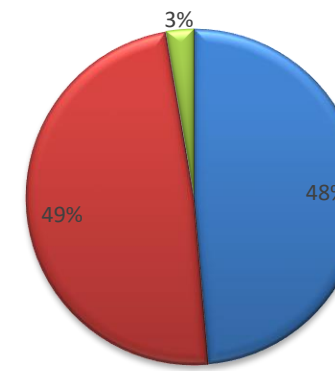


学校運営について（課題ととらえられる項目）

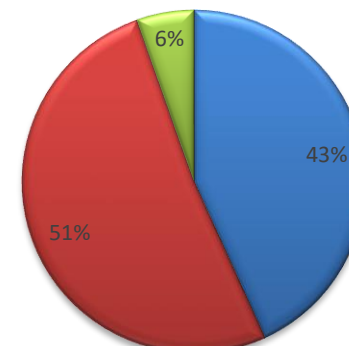
週に1回ホームページを更新するなど、保護者や地域に必要な情報を適切な時期に伝えた。



「はじめに子どもありき」を根拠として、カリキュラムを実践してきた。



共に働く教員として、協力して教育活動に取り組んだ。



令和5年度の取組の方向性

○「探究的な学びを意識した授業実践」

すべての1単位時間で「けいこ」「たんきゅう」「なかよし」という本校の学習の視点を意識して授業計画を立て、情報機器を積極的に活用して、ねらいを達成できるようにする。

○「共に協力して働き、保護者・地域に信頼される学校」

教職員それぞれの個性を生かして協力し合い、保護者地域に情報提供をすることでコミュニケーションを円滑にし、保護者地域と共に一人一人の子どもを育てる学校にしていく。

- A (とても思う)
- B (思う)
- C (あまり思わない)
- D (思わない)
- E (分からない)